

小高 直弘(こだか なおひろ)

1987年、中部地区を基点とする三重交通グループに入社。

現在、三重交通グループ、株式会社観光販売システムズ 代表取締役社長。

熊野古道の世界遺産化を機に「地元観光地と旅行業界」を結ぶ協議会「三重県観光販売システムズ(会員旅行会社54社)」を設立。07年7月より、三重県の枠より全国へ拡大し「株式会社観光販売システムズ(三重交通100%出資)」を設立。現在は観光関連行政・観光業界・観光地関係を中心に観光地づくりや誘客戦略の講習会・研修会を年間40回以上の講演や、地域づくりプログラムをおこなっている。また、平成18・19年度の執り行われた「伊勢神宮式年遷宮お木曳(きひき)1日神領民(しんりょうみん)」を全国から7万6千人の受注事務局をおこない、21年度よりNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」をきっかけとする観光街づくり、愛媛県松山市の観光誘客プロデューサーの委託業務を開始。また、22年度は同じくNHK大河ドラマ「お江～姫たちの戦国～」に関わる三重県の委託事業を開始する。また、国事業の「内閣府元気再生事業」や「国土交通省観光圏事業」なども多数受託する。

2010年12月より対外国客誘致推進事業の皮切りとして、中国・上海の拠点となる「株式会社観光販売システムズ」を開設し、インバウンドの対応もはじまった。

2011年12月には中部の拠点事業として、三重県・熊本県をはじめとする地域行政アンテナショップ&イートイン「プロダクトショップ桜通りカフェ」を愛知県名古屋駅前にオープンし、観光・物産の情報発信を先駆的な試みとしてスタートした。

■最近の講演テーマとして「発地側からなる着地型観光商品造成について」「お客様と旅行会社と観光行政との温度差とは」「今の観光地・本当の観光地のおもてなし」などの講演内容が多く、平成20年度より(株)観光販売システムズ職員による、実際に地域観光行政に入り、売れる観光商品作りや市場での流通・告知などを手掛け「観光客の顔を見る！」等の行政事業が多い。

現在の役職

- 株式会社観光販売システムズ 代表取締役社長
- 九州産交ホールディングス株式会社 顧問
- 伊勢市観光政策担当顧問
- 国土交通省中部運輸局観光アドバイザー ○静岡県ふじのくに観光アドバイザー
- 三重県「美し国おこし・三重」実行委員会委員 ○鳥羽市観光アドバイザー
- 鈴鹿市観光振興アドバイザー ○三重県観光条例・伊勢市観光振興策定委員会委員
- 愛媛県観光振興アドバイザー ○熊本県観光アドバイザー 等



【平成20・21・22・23・24年度/主な講演会・研修会・勉強会開催行政、機関等】

三重県観光局/伊勢市観光政策課/伊勢市活性化委員会/伊勢志摩観光コンベンション協会/松阪市商工観光課/東紀州観光まちづくり公社/尾鷲市観光振興課/熊野市交流課/長野県観光部/兵庫県豊岡市観光課/和歌山県観光振興課・和歌山県観光連盟/愛媛県観光協会/松山市観光産業振興課/松山観光コンベンション協会/愛媛県宇和島圏域/熊本県観光連盟(県央・県北・阿蘇・天草・人吉)/長野県南信州下伊那商工観光課/宮崎県観光推進課/宮崎市観光連盟/岐阜県観光連盟/国土交通省近畿運輸局/国土交通省中部運輸局/野沢温泉村観光課/伊勢志摩観光圏/鹿児島県観光交流局/京都府宮津市観光協会/鳥根県観光振興課/富山県観光・地域振興局/愛媛県観光物産課/長崎県観光連盟/平戸市観光協会/対馬市観光協会/日本商工会議所 等

【平成20・21・22・23・24年度/主な委託事業・観光プロデューサー・観光委員等業務依頼行政、機関等】

三重県観光局/三重県マーケティング室/三重県政策部/三重県東紀州対策室/伊勢志摩観光コンベンション協会/伊勢市観光企画課/鳥羽市観光課/松阪市商工観光課/東紀州観光まちづくり公社/中部運輸局観光アドバイザー/熊本県観光物産総室/松山観光コンベンション協会/愛媛県宇和島圏域(内閣府元気再生事業)/和歌山県観光産業振興課・和歌山県観光連盟/伊勢志摩(国土交通省観光圏整備事業)/岐阜県産業労働観光部/志摩市観光戦略室/天草市地域振興課/宮崎県観光推進課/京都府宮津市観光課/鹿児島県観光交流局/鳥根県観光振興課/富山県観光・地域振興局/愛媛県観光物産課/水俣市商工観光推進課 等

* (株)観光販売システムズの只今のキーポイントは、○桜通りカフェ ○ことなび ○上海ぐるなび「らく遊日本」です。お時間のある時にどうぞ検索ください。